

KFCボーイズA 4年ぶり3度目の優勝

—第8回 神戸ジュニアウインターフェスティバル—

新春の1月5日～7日、磯上球技場、御崎グラウンドを中心に第8回神戸ジュニアサッカーウインターフェスティバルが開催された。

(主催:神戸FC、後援:市協会)

小6の部には千葉、大町ら遠来のチームが、市内からは神戸FCボーイズ、蓮池、多井畑ら12チームが参加した。決勝ではKFCボーイズAが交野FCを2-1で破り4年ぶり3度目の優勝を飾った。小5の部には松山SS、岐阜城西などを迎え市内からはKFCボーイズB、C計9チームが参加。松山SSが決勝で交野FCを3-0で破り2年ぶり2度目の優勝を飾った。

また中学の部は交歓試合の形式で1月5日～7日灘高を利用して上野、枚方、交野、高槻など西日本強豪クラブチームが集い市内中学チームと対戦した。

この大会は8回目を迎える神戸大会としてすっかり定着した。そこで市協会少年委員会では来年度から市の主催行事にするように検討している。ウインターフェスティバルは市内のレベルアップをねらいとして大会規模をあげ市内チームの参加数を増やし運営面でも少年関係者あげて行うというもので関係者の意欲は満ちである。

中学の部もあわせて検討していただけると幸いです。(黒田)

【小6の部】

決勝 神戸FC・A 2-1 交野FC

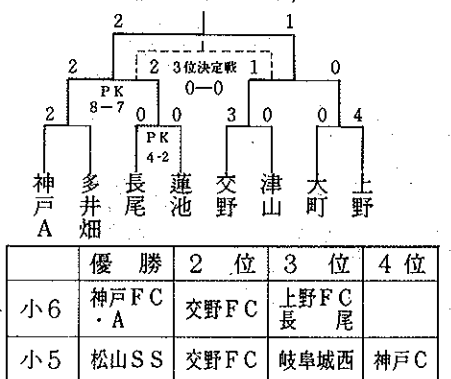
三位決定戦 長尾(香川) 0-0 上野FC

【小5の部】

決勝 松山SS 3-0 交野FC

三位決定戦 岐阜城西 2-0 神戸FC・B

(小6の部決勝トーナメント)



神戸っ子2,200人が500試合を消化

— 少年サッカーリーグから —

昭和55年度神戸市少年リーグは、5月3日より56年2月22日までの長期にわたって行われた。9月までに各ブロックの予選リーグがあって、10月以後決勝リーグ、順位決定戦が行われた。

御崎少年グラウンドを中心として渦ヶ森、桜の宮、北五葉、木津、高倉台小学校グラウンドを使用して、年間約500ゲームを消化してきた。8月のサマーリーグ、9月の兵庫県少年大会予選の試合を組み入れての運営であるからやっと消化できてはまっている。会場校になった指導者の方々や3会場にわたって試合のあったチームなど、色々と協力していただき感謝の気持ちでいっぱいである。

近年、兵庫県内に於いて他地域のチームに県大会でいい思いをさせられてきたが、本年の1部優勝をした神戸FC・Aは県大会も制し、神戸のレベルアップに貢献した。

昨年度ぐらいから、1部リーグでは、上位と下位との技術、戦術面での差がなくなってきた。すなわち、底辺の充実が目立ってきているのである。このことは、各チームの指導者の熱意と、指導者数の増加、新チームの参加といった理由が考えられる。

II部リーグでは、北五葉A、神戸FC・Bの活躍があげられるが、初参加した、みさきFC、有野A、新多聞Aチームの健闘も光った。参加することによって、これらのチーム

の中から、サッカーの大好きな子どもが多く育ってくることを願っている。

III部リーグでは、神戸FC・Dチームが優勝したが、多井畑Cチームが第2位と活躍した。多井畑は、指導者組織、父母の会がしっかりできており、これからの活躍が期待できると考える。又、桜の宮Cは個人技に優れた面が見受けられた。

IV部、V部の女子リーグでは、常勝八多に優勝戦でP・K戦の末勝利を握った多井畑Aのチームワークは抜群であった。また、V部の4年生以下の試合では、勝負を考えないで楽しいサッカーができていたのではないかとと思う。(少年委員長 桜井研二)

1部上位リーグ (○内の数字は順位)

決勝 ①神戸FC A 7-1 東灘A ②
3位決定戦 ③八多A 0-0 ちとせA ④ PK 3-2
⑤成徳A 1-1 蓮池A PK 4-2 ⑦
箕谷A 2-1 ひよどり台A ⑧ ⑨多井畑A 3-2 神戸FC C ⑩ ⑪鶴越A 2-1 桜の宮A ⑫

1部下位リーグ

決勝 ⑬渦ヶ森A 2-0 東灘B ⑭ ⑮成徳B 2-1 鶴越B ⑯ ⑰福住 2-0 高倉台A ⑱
⑲垂水SS 東舞子 2-1 箕谷B ⑳ ㉑丸山A 5-0 板宿 ㉒ ㉓垂水SS 塩屋

▶郷土チームを

応援しよう。

—関西社会人リーグ日程決まる—

昭和56年度関西社会人リーグは4月4日から7月4日の3ヶ月をかけて日本リーグ2部を目指し戦われる。兵庫県からは兵庫教員団と三菱重工神戸が昨年の底位置からどこまでもりかえせるか、サッカー王国兵庫の夢をかけて大いにがんばってもらいたい。

4月4日 三菱神戸:京都府警14時万博
4月5日 兵庫教員:湯浅電池12時 万博
4月11日 兵庫教員:大日本電線14時神戸
4月12日 三菱神戸:三菱京都12時 西京極
4月18日 三菱神戸:電々近畿12時 万博
4月19日 兵庫教員:三菱神戸12時 西京極
4月26日 三菱神戸:湯浅電池14時神戸中央
4月29日 兵庫教員:電々近畿12時神戸中央
5月2日 三菱神戸:大日本電線11時伊丹
5月2日 兵庫教員:大阪ガス15時 伊丹
5月10日 兵庫教員:三菱神戸14時万博
5月17日 三菱神戸:大阪教員11時万博
5月17日 兵庫教員:大阪府警12時西京極
5月24日 兵庫教員:大阪教員11時万博
5月24日 三菱神戸:紫光クラブ14時西京極
5月31日 三菱神戸:大阪ガス13時万博
5月31日 兵庫教員:紫光クラブ15時万博
6月6日 三菱神戸:大日本電線11時服部
6月7日 兵庫教員:大阪ガス12時電々淀
6月13日 三菱神戸:三菱京都11時服部
6月13日 兵庫教員:大日本電線15時服部
6月20日 三菱神戸:湯浅電池11時服部
6月21日 兵庫教員:電々近畿14時電々淀
6月27日 三菱神戸:電々近畿11時服部
6月27日 兵庫教員:三菱京都15時服部
7月4日 兵庫教員:湯浅電池15時服部
7月4日 三菱神戸:大阪府警13時府警

日本サッカー協会だより

機関誌の値上げのお知らせ

年間購読料3,500円

日本サッカー協会(平井富三郎会長)では、同協会発行の機関誌の値上げを決定し、購読者の協力をお願いしている。同協会ではアンケートをもとに購読料値上げの検討をした結果年間3500円に決定した。値上げの主な理由は、諸物価の値上げと公共料金であります郵便料金の値上がりに伴うもので、サッカー機関誌購読者の協力を賜るよう呼びかけている。また、同機関誌の内容の充実し力を注ぐよう検討している。

個人購読のご案内

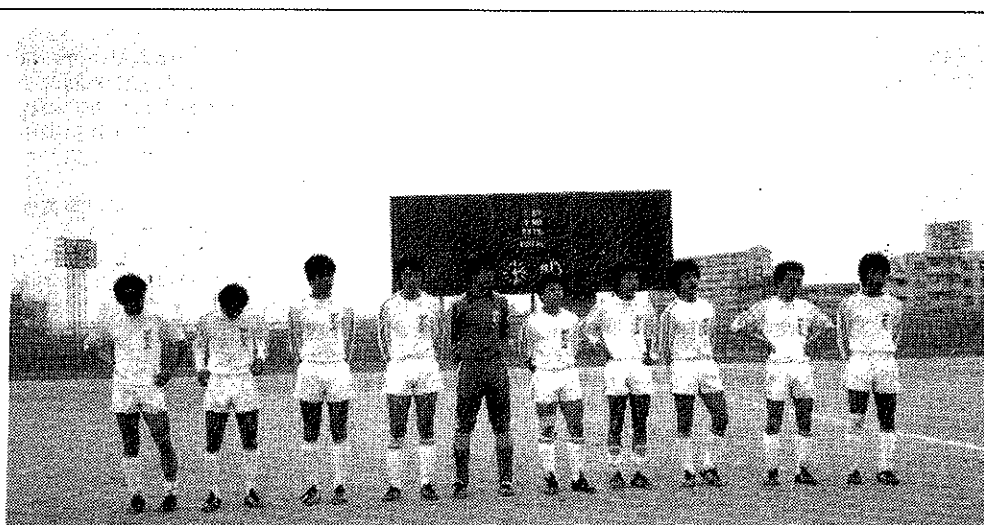
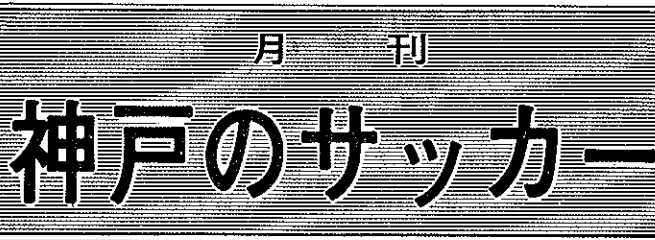
弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市中央区八幡通2-1-10

三木記念神戸市立スポーツ会館内

神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



兵庫県高校新人サッカー大会は2月8日より開幕、県下7地区の予選を勝ち抜いた32校が参加し熱戦を展開した。

ベスト4には昨年に続いて伊丹北、御影工が進出し明石西、宝塚の新鋭2校が強豪を次々と打倒して勝ち上って来た。

準決勝は御影工-明石西、宝塚-伊丹北の対戦となった。

御影工は明石西に対し前半八木の3得点で圧倒、後半も1点加え、明石西の反撃で1点を失ったが圧勝した。

伊丹北は、宝塚のはげしい攻撃に押され気味だったが0-0とPK戦に持ち込み、3-0でPK戦をものにして決勝進出を決めた。

御影工-伊丹北の決勝戦は2月22日、神戸中央球技場で行われた。

両校の対戦は一昨年以来しばしば好試合を展開し、今年も兵庫県のトップを争う2校として注目されておりサッカーファンの注目をあつめたが、ゲーム展開は、御影工が6分に森野のパスを受けた永島があつさり決めて先行、その後もしばしばチャンスをつかみながら決定力がなく1-0で前半を終了。

後半にも車谷のパスを永島があつやかなヘディングシュートを決めて2-0と勝利を決定的にし、その後の伊丹北の反撃をかわして4年連続優勝を飾った。

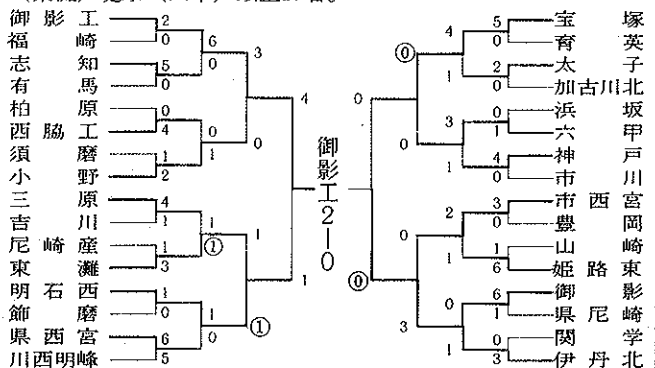
御影工は全国大会出場メンバーの多くが残っておりチームとして出来上っており順当な勝利と言えるが、永島、福田の成長とともに運動量と当りの強さが望まれる。

伊丹北は山本、脇本のバック陣が軸となり安定した守備力をもつが攻撃が低調で御影工の守りを破ることができなかった。

準決勝進出の4校と5位決定戦に勝った市西宮の5校は3月26日～29日に大阪、万博球技場で行われる近畿高校サッカー選手権大会に出場する。

大会優秀選手(ベスト8以上の学校より選出)

福田孝徳、森野和行、八木清悟、永島昭浩、祖母井章夫(以上御影工) 山本秀史、脇本良治、今藤龍介(以上伊丹北) 太田垣文章、大西弘幸(以上明石西) 鈴木聖一郎、阪西豊(以上宝塚) 小林公平、山口直容(以上市西宮) 古谷大治(小野) 落合一雄(東灘) 堤康(六甲) 以上17名。



敗者戦(5位決定戦)



御影工4年連続優勝

県高校新人サッカー大会

